

現代中国研究拠点経済部会研究会・社研東アジア経済史研究会

東京大学社会科学研究所は毛沢東時代の中国経済社会を支えた化学・電力・セメント・機械に関する研究活動をしておりますが、この度、中国化学工業史研究の第一人者である陳歆文先生を中国から招聘することになりました。つきましては、この機会を利用して、下記の通り、中国化学工業発展の歴史に関する公開講演会を開催します。

侯德榜は中国化学工業の育ての親として中華民国や計画経済時代に大きな役割を果たしましたが、同時に、いわゆる侯氏ソーダ法（塩安ソーダ法）開発者でもあり、世界的な名声を得た中国の化学者です。中国化学工業に関心を持たれる皆さまのご来席をお待ちしております。

2011年1月27日

東京大学社会科学研究所
現代中国研究拠点（経済部会）
東アジア経済史研究会

記

日 時 : 2011年2月28日（月）午後3時～5時

会 場 : 東京大学社会科学研究所第一会議室（108号室）
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/guide/>

報告者 : 陳歆文（元・大連化工設計研究院）
「侯德榜と計画経済期の中国化学工業」

言 語 : 中国語・日本語

陳先生主著 :

『侯德榜』河北教育出版社、2001年（李祉川と共著）

『范旭東』大連出版社、2003年

『中国近代化学工業史（1860～1949）』化学工業出版社、2006年